

事務事業名		地方財務協会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	財政課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					担当係	財政係	担当課長名	金子好雄	
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 歳入に見合った歳出構造への転換					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1020	一般	2	1	4	地方財務協会参画事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	なし					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		参画事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
・財団法人地方財務協会に賛助会費を納入することにより、「月報地方財政」「地方財政」「月報地方税」の出版物が配布される。また、地方財政講習会等の参加が安価となる。 ・財団法人地方財務協会は、自主的に健全な地方税財政制度の確立に寄与するために設立された財団法人である。			(市の活動) ・財団法人地方財務協会主催、総務省後援による講習会を受講し、地方財政に関する情報提供を受けた。 ・財団法人地方財務協会へ賛助会費(年額42千円)を納入し、出版物の配布を受けた。 (財団法人地方財務協会の活動) ・地方税財政制度に関する調査研究及び啓蒙宣伝、地方税財政制度の運営に関する中央官署と地方公共団体との連絡調整、研究会・講習会等の開催、図書・印刷物及び機関誌の刊行等							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			財団法人「地方財務協会」からの出版物	冊	24	24	24			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・地方公共団体			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			正会員及び賛助会員数	団体	394	385	385			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
・地方財政の最新情報を本市の財政運営に活用する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			財政運営に活用した情報量	件	12	12	12			
			講習会への参加者数	人	1	1	1			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
健全財政が維持されている			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			実質公債費比率	%	6.3	5.6	10.0	10.0	10.0	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	40	50	51					
	事業費計(A)	千円	40	50	51	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	40	普通旅費	8	普通旅費	9		
					負担金	42	負担金	42		
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	29	29	29						
人件費計(B)	千円	113	114	114	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	153	164	165	0	0				

事務事業名	地方財務協会参画事業	担当部	総合政策部	担当課	財政課	担当係	財政係
-------	------------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	「財団法人地方財務協会」は、地方財政の運営の円滑化と住民福祉の向上等に寄与することを目的に設立されたものであり、この設立趣旨に賛同して会員となったものである。財団法人の設立は、昭和21年7月であるが、本市が賛助会員となった年度は不明である。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢化に伴い、社会保障費が増加傾向にあることや、支払いが義務付けられ任意に削減できない経費が増加傾向にあり、財政の硬直化が進んでおり、厳しい状況となっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	本参画事業から入手できる地方税財政の最新情報を予算編成等に活用することにより、持続可能な財政運営の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	最新の情報を予算編成等に活用することにより、持続可能な財政運営を図るものであり、直接参画しなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	地方税財政の最新情報を予算編成に活用しており妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	財団法人地方財務協会からの出版物及び、講習会を受講することにより情報を入手して活用しているため、これ以上の成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は定額の負担金であり、削減の余地はない。 人件費は最低限の事務と講習会参加に要するものであるため、削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	予算編成等に活用し、持続可能な財政運営を図るという行政内部の事業であるため、受益者負担は全市民となるため負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 本市独自で地方財務協会からの情報と同等の情報を取得できることとなった場合、この事業は廃止できる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																								
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					